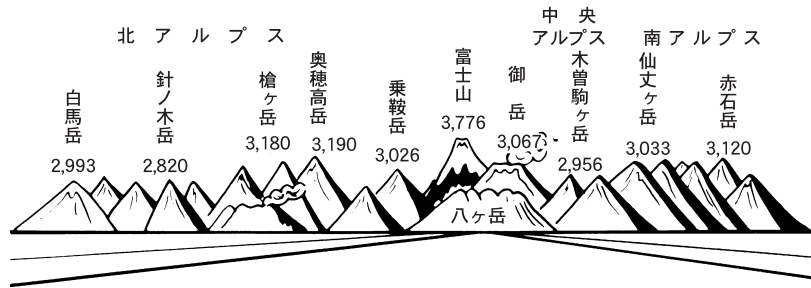


第 50 号

平成24年 5月



砂防ニュースレター「長野」



浅間山 [提供：利根川水系砂防事務所]

目 次

新砂防課長あいさつ	2	着任挨拶：多治見砂防国道事務所長	7
平成24年度砂防関係予算	2	「河川砂防情報ステーション」の	
「土砂災害から人命と地域を守る砂防会議」		運用開始について	8、9
開催・要望活動	2	県内の土砂災害警戒区域等の指定状況	10
長野県北部地震から1年の進捗状況	4、5	平成23年に完成した透過型砂防堰堤の紹介	11
梨子沢砂防えん堤活用で小水力発電	5	平成24年度砂防課人事異動について	12
平成23年度「土砂災害防止に関する作文」		長野県治水砂防協会行事等経過・予定	12
国土交通事務次官賞受賞	6		

新 砂 防 課 長 挨 拶



田中秀基 砂防課長

この4月から長井砂防課長の後任として着任いたしました田中です。よろしくお願いいたします。前任は、富山県の砂防課に在籍しておりました。富山県と比較しますと、長野県は県土面積が広く、また市町村数も多いので、地理的な状況を何とか早く頭に入れるよう努めております。

着任後、ご挨拶に県内をまわる機会を得ました。道中雪を被った山々がとても美しく深く印象に残りました。そして、この美しい環境の中で勤務できることを大変うれしく感じたところです。

一方で居住地が山の近くまで迫っており、台風や豪雨のときを想像すると、常に気を抜けない厳しい職務を与えられたと改めて痛感したところです。

市町村長さんや地元の方とお話をさせて頂き、また砂防課の担当者から県内の砂防事業や災害の概要の説明を受け、まだまだ経験不足ですが少しずつ理解を深めているところです。第一印象としまして、土砂災害対策に取り組む市町村や地元の方の熱意が大変強いことに感銘致しました。そして、過去から土砂災害により多くの被害を被ってきたことから、砂防事業も古くから取り組まれており、その技術も高く、職員の士気の高さも感じました。一方で、さらなる対策が必要な箇所も多くあることから県民からの砂防に対する期待が大きいことも感じました。気持ちを引き締め、微力ではありますが、土砂災害の防止・軽減に精一杯取り組む所存ですので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

事業の推進に当たりましては、近年被災した箇所や災害時要援護者関連施設などが立地する土砂災害危険箇所におけるハード対策を重点的に進めるとともに、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定や警戒避難の取り組みなどのソフト対策を総合的に進めていくこととしております。皆様のご期待に応えられますよう、砂防課職員一丸となって取り組んでいく所存ですので、重ねてご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成24年度 砂 防 関 係 予 算

平成24年度の本県砂防関係事業の当初予算は、補助公共事業費が94億円弱で対前年比1.01、県単独公共事業費が5億円弱で前年対比0.96となっており、災害関連事業を加えた全体事業費は約110億円余、対前年比1.00となっています。

平成24年度砂防関係予算

(単位：千円)

事 業 名	平成24年度 当初県予算(A)	平成23年度 当初県予算(B)	対前年 当初比(A)/(B)
●砂防総務費	372,540	430,393	0.866
●補助事業			
□砂防費	5,647,300	5,613,000	1.006
□地すべり対策費	1,899,100	2,001,000	0.949
□急傾斜地崩壊対策費	1,822,200	1,661,055	1.097
小 計	9,368,600	9,275,055	1.010
●災害関連緊急砂防事業			
□砂防費	300,000	300,000	1.000
□地すべり対策費	300,000	330,000	0.909
□急傾斜地崩壊対策費	200,000	200,000	1.000
小 計	800,000	830,000	0.964
●県単独事業費			
□砂防費	252,531	259,852	0.972
□地すべり対策費	96,426	98,760	0.976
□急傾斜地崩壊対策費	131,593	140,833	0.934
小 計	480,550	499,445	0.962
●砂防受託費	15,500	0	皆増
計	11,037,190	11,034,893	1.000

「土砂災害から人命と地域を守る砂防会議」開催される



平成23年11月29日「土砂災害から人命と地域を守る砂防会議」が砂防会館別館シェンバハ・サボー（東京都千代田区）で開催されました。当日は会員等約850名が参集し、本県からは佐々木会長をはじめ75名（内31名首長の皆さん）の会員、関係者に御出席いただきました。

会議に先立ち、中京大学理事・総合政策学部教授特定非営利活動法人防災情報研究所理事長の奥野信宏氏より「大



規模災害を踏まえた国土政策」と題して特別講演が行われました。その後、砂防会議では、綿貫全国治水砂防協会会長の挨拶で始まり、福島県只見町長より「平成23年7月新潟・福島豪雨災害～土砂災害の教訓～」、宮崎県高原町長より「霧島山新燃岳噴火と土砂災害からの教訓」と題して意見発表が行われました。引き続き意見交換では、松本小谷村長より貴重な意見が述べられました。

要 望 活 動 の 実 施

砂防会議を終え同日午後、佐々木会長をはじめ役員、会員関係者により要望活動を行いました。

「砂防事業の推進について」、「長野県北部の地震の対策状況」（栄村中条川他）を掲載した当協会の要望書を衆議院本館26控室において、民主党陳情要請対応本部風間直樹副本部長へ佐々木会長より手渡されました。引き続き宮川南木曾町長、唐木南箕輪村長、太田白馬村長、藤澤生坂村長、松本小谷村長、伊藤小川村長が意見を述べました。

その後、国土交通省、県選出国會議員へ要望を行いました。

本年度は道路期成同盟会と合同要望活動になりましたが、大勢の市町村長の皆さんに御参加をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。



長野県北部地震から1年の進捗状況

国補通常砂防 中条川 下水内郡 栄村 中条

長野県北部地震
平成23年3月12日
震度6強(栄村)

4月30日現在進捗率 35%

中野市夜間瀬川河川敷にてブロック製作及び、鋼製スリットの工場製作を実施中。現地では立木伐採を終え工事用道路の作業を実施中。



工事概要

砂防堰堤(透過型)工 H=11.5m L=62.0m V=2,239m³
床固工(ブロック床固工) H=5.0m L=43.0m V=850m³

ブロック製作ヤード状況



工事用道路状況



国補通常砂防 中の沢 下高井郡 野沢温泉村 七ヶ巻

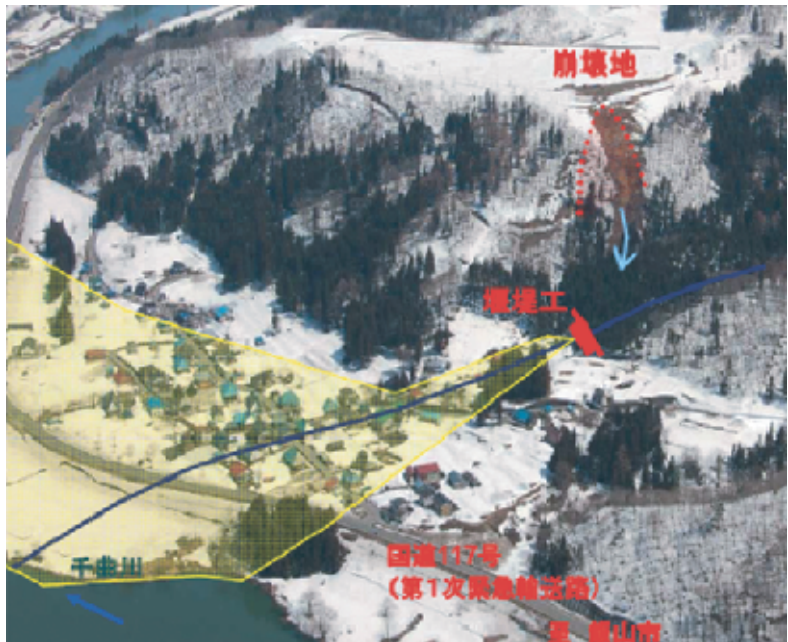
長野県北部地震
平成23年4月12日
震度4(野沢温泉村)

4月30日現在 進捗率 5%

12月中旬からの降積雪により工事休止中。
積雪深は1.5m

工事概要

砂防堰堤(不透過型)工
H=13.5m L=75.0m V=4,144m³



国補急傾斜地崩壊対策

平滝 下水内郡 栄村 平滝

長野県北部地震
平成23年3月12日
震度6強(栄村)



現在の状況



4月30日現在 進捗率 75%

12月中旬からの降積雪により工事休止中(現地未着手)。現在の積雪深は1.5m。

工事概要

連続繊維補強土工 L=123m A=1,503㎡

現場吹付法砕工 L=102m A=1,061㎡

鉄筋挿入工 N=118本 L=3.0m

グラウンドアンカー工 N=130本
L=7.7~28.5m

砂防えん堤を活用で小水力発電、協定書調印式

『小水力発電実証実験』国と協定書

・・・梨子沢砂防えん堤を活用・・・

南木曾町では、3月14日に国土交通省多治見砂防国道事務所と梨子沢小水力発電に係る協定書を結びました。これは、町が提言してきた自然エネルギーの地産地消や地球温暖化対策の取り組みのひとつとして進めるもので、国土交通省と共同で小水力発電の有効性を確認する実証実験を行うものです。

協定では、国が梨子沢第2砂防堰堤改築事業に併せて、取水設備や発電施設、送電線を平成24年度中に整備、発電を開始し、町は通常時や災害時の維持管理を行います。

発電された電力は、国の土石流監視カメラに利用するほか、避難所である南木曾小学校内の施設に無料で供給されますが、利用箇所は、発電能力を検証し今後、決定される予定です。

この実験を通じて、土砂流出が多い溪流での発電設備の機能や発電効率、電力活用時の問題点を抽出し、効率化に向けた検証を行って、小水力発電の普及に繋げようとするものです。



小水力発電計画の概要

使用水量	0.037m ³
有効落差	20.1 m
最大出力	4.6 kw
年間発生電力	39,050 kwh
	一般家庭11世帯分の年間消費電力量に相当

「土砂災害防止に関する作文」国土交通事務次官賞受賞



『土砂災害の経験から』

岡谷市立 岡谷西部中学校
1年 高林 綾香

私は土砂災害を経験した事があります。私が小学2年の時で7月19日に土砂くずれがおこりました。夜みんな寝ていました。朝方になって、お母さんに起こされました。土砂くずれがおこったらしいです。避難するために外に出ました。外に出ると、家の前の坂は泥だらけで車庫においてある、おばあちゃんの車は少し流されていました。避難する時、鎌倉街道は水や泥で通れなくなっていたので踏切を渡って、天竜川ぞいを通って、橋原公民館へ避難しました。天竜川の水があふれていて今歩いている道の下の道が水であふれて通れなくなっているほどでした。着いたら、まだ午前3時くらいだったのでもう少し寝ていました。朝になって、学校の先生が来ました。話をした後、橋原公民館も危なくなったので西部中学校の方へ移動しました。体育館で7月20日から7月23日くらいまで3泊しました。体育館では意外と多くの方が避難していました。びっくりしました。避難中、学校はちゃんと行きました。その日が3日間続きました。たった3日間だけなのに、寝る時とか少し退屈でした。その時、テレビや新聞を見ると、この土砂災害で鎌倉街道の上の一家は流されてしまって、その家に住んでいたおじさんは亡くなってしまった事を知りました。私は、おじさんを知っています。おじさんはいつも優しくて、会った時

に時々私にりんごジュースをくれたり、あいさつをしたり、冬には一緒に雪かきをしてくれたおじさんです。優しかったおじさんが亡くなってしまった事がすごく悲しかったです。あと他に家の中の泥が入ってきた家や、くずれた家もありました。そのための復興が行われました。重機も使いました。区の人達だけじゃなくボランティアの人が来て手伝ってくれました。うれしかったです。感謝をしたいと改めて思いました。このような土砂災害はもうおこってほしくないです。そのために、対策が4つしてあります。1つ目は「えん堤」です。2つ目は「土が入った袋」です。土が入った袋は家の外の出入口の所とかに置いて、泥が流れてきた時、家に入ってこないように止めるために使います。3つ目は「雨量計」です。土砂災害は雨がたくさん降って豪雨になるとおこるので、雨量計が市内に8個設置されました。4つ目は「防災ラジオと行政チャンネル」です。災害がおこりそうだったり、警報や注意報など情報を早く知る事ができます。この4つの対策で、これからもし、おこった時に絶対ではないけれど安全です。私が2年生の時の後、今はおこっていないのでほっとしています。今、岡谷市以外の他の所で「土砂災害がおこった」という事をたまにニュースで見たり聞いたりします。土砂災害がおこると色々が大変です。例えば土砂くずれがおきて復興する時、道の泥の片付けや、山の中の木の片付けです。多人数でやらないと大変です。あと思った事で「他の所でも私が経験したような事がおこっているんだな」と思いました。土砂災害はこわいです。理由は3つあります。1つ目は、土砂くずれが、いつ、どのタイミングでくるか、わからないからです。2つ目は、泥の力で車や家などを流してしまうからです。3つ目は、土砂くずれによって亡くなる人や、行方不明の人が出るかもしれない、悲しむ人が出てしまうからです。私は「地震とかと同じで、土砂災害もこわい」と思いました。だから土砂災害をなるべくおこしたくないです。そのために4つの対策（他にも対策はあると思います。）の中で自分ができる事は、やってみて「土砂災害を少しでも防止できたらなあ」と思いました。

多治見砂防国道事務所長 着任の挨拶



中部地方整備局 多治見砂防国道事務所長 伊藤 仁志

このたび4月に、多治見砂防国道事務所に参りました。長野県治水砂防協会の皆様には大変お世話になりますが、よろしくお願い致します。

まずは、自己紹介します。出身は三重県四日市市です。前任地は、鹿児島県土木部砂防課で、3年間、南大隅町の深層崩壊に伴う土石流災害、平成22年・23年と2年連続の奄美豪雨災害、霧島山新燃岳噴火などの土砂災害対応に追われる毎日でありました。長野県に係る勤務は、天竜川上流河川事務所（平成19～20年度）に引き続いて今回で2回目であります。初心に帰り、長野県政発展のために、誠心誠意頑張りますので、どうかよろしくお願い致します。

平成24年度木曾川水系直轄砂防事業（長野県）の予算は約13億円で、10箇所において事業展開します。財政状況が厳しい中、必要予算が確保されておりますのも、ひとえに、国会・県議会・町村議会議員の先生、町村長さんのご支援の賜と思っております。今後も引き続き、ご支援賜りますよう、よろしくお願い致します。

木曾川上流域は、日本の屋根といわれる中央アルプスを流域に抱える等、とりわけ厳しい自然条件下にあり、これまでも、昭和36年、昭和41年など、数多くの土砂災害に見舞われてきており、土砂災害に対しては非常に厳しい地域です。平成16年、21年、22年には滑川北股沢（上松町）において土石流が発生しておりますが、砂防堰堤の効果により被害を未然に防ぎ、地域の生命や財産を守ることができております。今後も、砂防施設の整備を着実に進めていきます。

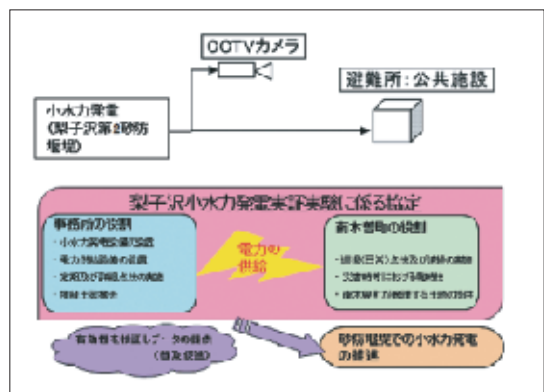
また、今年度から、梨子沢第2砂防堰堤（南木曾町）の未利用落差を活用して小水力発電の有効性を確認するための実証実験を、南木曾町と当事務所の共同で行うことにしております。今後、有効性を検証し、データを提供していきます。

この他、管内には岐阜県と長野県の県境に御嶽山があります。御嶽山は平成19年3月に小規模な噴火が発生するなど活火山であることから、噴火時に被害の最小化を図るため、平成23年7月に「御嶽山の火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定しました。今後は、同計画に基づいて、関係機関と連携して具体的な対策を行い、備えを着実に進めていきます。

これから、梅雨・台風の時期を迎えます。与えられた予算・組織をフル活用して、防災関係機関の連携・協力の基、ハード・ソフト両面からの対策により、土砂災害の防止・予防に努めて参りますので、引き続き、皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



写真：滑川北股沢土石流



図：梨子沢小水力発電実証実験（南木曾町）



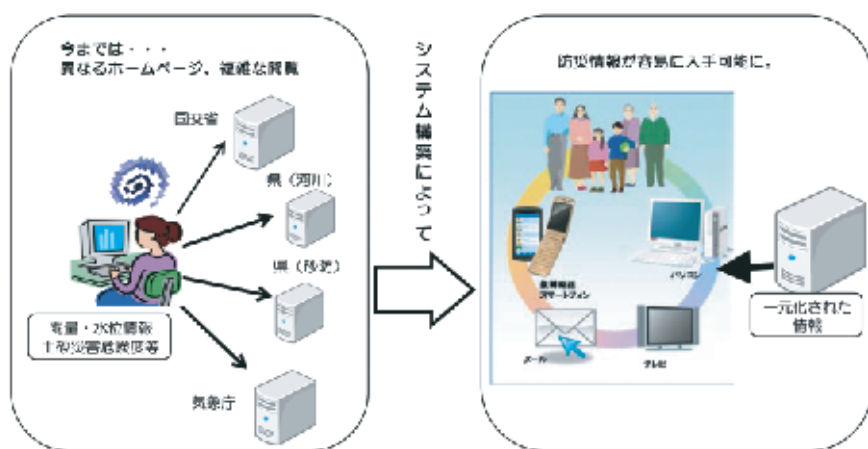
写真：御嶽山監視映像の王滝村役場への配信

「河川砂防情報ステーション」の運用開始について

いつどこで発生するか予測が難しい土砂災害や、被害の範囲が大きい洪水時に、命を守るために欠かせない早期の警戒と、迅速な避難を図るには適切な情報の提供が重要です。

これまで、県の雨量情報は砂防課のWebサイトで、河川水位情報は河川課のWebサイトで、国土交通省管理河川については、国の各直轄事務所のWebサイトで、それぞれで情報を発信してきました。しかし、このような状況では、異なるWebサイトを閲覧しなければそれぞれの情報を得られず、緊急を要する災害時には、迅速に避難等の判断をする為の情報を入手するために時間を要します。また、近年の災害の多様化に対して、県民の方々が自分で防災情報を入手しやすいシステム作りが必要となってきました。

このため、防災情報を容易に入手できるシステムとして「河川砂防情報ステーション」を構築し、平成24年3月31日より運用を開始しました。



「河川砂防情報ステーション」は、早期の警戒及び迅速な避難に寄与するため、雨量・水位といった情報を一元化して利便性を図るとともに、放送事業者へも情報を提供できるものとし、テレビ放送等を通じて雨量・水位や土砂災害危険度等の防災情報を、広く県民の方々へ提供できるものとなりました。

県の雨量・水位情報を一元化することに加え、気象台の持つ雨量情報、国土交通省が持つ雨量・水位情報もシステムに集約し、防災情報の一元化を図ります。

情報の一元化によって、雨量・水位情報に関しては、旧システムよりも観測局数にして約1.5倍の情報が得られることになりました。

情 報		雨量観測局	水位観測局	ダム・水門諸量	監視カメラ画像
現	在	239局 県194局、気象台45局	68局 県河川68局	0箇所	0箇所
新システム	追加	116局 国交省	35局 国交省	10箇所 県	121箇所 国交省
	合計	355局	103局	10箇所	121箇所

集約した防災情報は、インターネットや携帯メールによって配信されます。

さらに、テレビのデータ放送で利用でき、降雨時に迅速な中継箇所の選定を支援できるような情報を放送事業者へ配信できるものとし、情報の配信については現在、放送事業者と調整中です。

「河川砂防情報ステーション」では、Webサイト等のデザインについても一新しました。

Webサイト構成としては、画面全体のサイズを拡張し、標準文字フォントも大きくして見やすさに配慮しました。

情報の表示エリアは拡張できるようにし、利用者が情報量の調節をできるものとしています。このように、利用者にとって、既存の「砂防情報ステーション」よりも見やすく、分かりやすいものになるよう配慮して構築しました。

携帯用Webサイトについては、パソコン用Webサイトとほぼ同等の情報を取り扱うこととし、どこでも手軽に防災情報の確認ができるようにしました。また、防災情報メールには、メール文に携帯用WebサイトのURLを埋め込むことにより、容易に詳細情報の取得ができるようにしました。

従来は、市町村単位での登録については、一市町村しか選択できず、複数市町村の登録はシステム上できませんでした。しかし、新たなシステムでは、QRコード等から各個人でいつでも登録、変更、解除ができるようにしました。他の登録地域についても必要な地域（市町村）を自由に選択して登録できるようにしました。

今後、運用していくなかで、改良すべき点も生じてくるかと思いますが、それについては順次対応し、より良いシステムにしていく必要があります。また、今回構築したシステムは「河川砂防情報ステーション」の名のとおり、河川と砂防の防災情報に特化したものですが、将来的には、道路等の防災情報についても一元化された「防災情報ステーション」となることが望まれます。このため、今まで以上に関係部局、関係機関との連携を強化することが重要です。

多くの方に「河川砂防情報ステーション」を利用して頂き、防災の一助となれば幸いです。

最後に、運用に際し協力頂いた河川課を始めとする関係部局や関係機関の方々には、この場を借りて御礼申し上げます。

パソコン用



河川砂防情報ステーション

携帯用



県内の土砂災害警戒区域等の指定状況

(平成24年4月1日現在)

事務所名	市町村名	土石流		地滑り		急傾斜地の崩壊		備考
		警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	
佐久	小諸市	32箇所	24箇所			230箇所	170箇所	東御市,御代田町,佐久市の一部含む
	佐久市	357箇所	300箇所			420箇所	375箇所	
	南佐久郡小海町	63箇所	54箇所			173箇所	150箇所	
	南佐久郡佐久穂町	96箇所	81箇所			161箇所	156箇所	
	南佐久郡川上村	20箇所	16箇所			24箇所	24箇所	
	南佐久郡南相木村	29箇所	25箇所			66箇所	52箇所	
	北佐久郡立科町	16箇所	15箇所			71箇所	62箇所	佐久市,東御市の一部含む
	南佐久郡南牧村	24箇所	22箇所			82箇所	72箇所	
上田	南佐久郡北相木村	25箇所	24箇所			57箇所	46箇所	
	上田市	379箇所	356箇所			491箇所	450箇所	
諏訪	東御市	39箇所	35箇所			154箇所	126箇所	
	岡谷市	110箇所	70箇所			369箇所	340箇所	下諏訪町の一部含む
	諏訪市	90箇所	85箇所			164箇所	149箇所	茅野市,下諏訪町,辰野町の一部含む
	茅野市	128箇所	110箇所			203箇所	184箇所	諏訪市,富士見町,原村の一部含む
伊那	諏訪郡下諏訪町	55箇所	50箇所			127箇所	91箇所	岡谷市の一部含む
	伊那市	27箇所	26箇所					箕輪町,南箕輪村の一部含む
	駒ヶ根市	250箇所	197箇所			305箇所	261箇所	飯島町の一部含む
	上伊那郡辰野町	143箇所	126箇所			240箇所	225箇所	箕輪町の一部含む
	上伊那郡南箕輪村	6箇所	5箇所	4箇所		57箇所	46箇所	伊那市の一部含む
	上伊那郡飯島町	32箇所	22箇所			52箇所	46箇所	駒ヶ根市の一部含む
	上伊那郡宮田村	12箇所	6箇所			14箇所	14箇所	
飯田	飯田市	208箇所	126箇所	85箇所		1261箇所	1063箇所	高森町,喬木村の一部含む
	下伊那郡松川町	41箇所	27箇所			397箇所	259箇所	
	下伊那郡高森町	26箇所	19箇所	27箇所		115箇所	112箇所	
	下伊那郡天龍村	35箇所	28箇所	78箇所				
	下伊那郡泰阜村	22箇所	18箇所			103箇所	90箇所	
	下伊那郡喬木村	41箇所	22箇所			182箇所	161箇所	
	下伊那郡大鹿村	39箇所	27箇所	65箇所		246箇所	223箇所	
木曾	下伊那郡松川町			1箇所				
	下伊那郡豊丘村	72箇所	58箇所			228箇所	190箇所	
	木曾郡上松町	91箇所	84箇所			109箇所	103箇所	
	木曾郡南木曾町	154箇所	124箇所			319箇所	189箇所	
	木曾郡木曾町	241箇所	230箇所			377箇所	323箇所	
松本	木曾郡大桑村	81箇所	67箇所			133箇所	111箇所	
	松本市	273箇所	230箇所			660箇所	620箇所	塩尻市,安曇野市,山形村の一部含む
	塩尻市	134箇所	104箇所			301箇所	269箇所	辰野町の一部含む
	東筑摩郡山形村	24箇所	22箇所			57箇所	57箇所	
安曇野	東筑摩郡朝日村	31箇所	27箇所			48箇所	48箇所	
	安曇野市	71箇所	65箇所			182箇所	174箇所	
大町	大町市	143箇所	136箇所			182箇所	179箇所	
	北安曇郡松川村	10箇所	8箇所			6箇所	6箇所	大町市の一部含む
千曲	千曲市	85箇所	65箇所			133箇所	124箇所	
	埴科郡坂城町	39箇所	28箇所			40箇所	29箇所	上田市の一部含む
須坂	須坂市	57箇所	55箇所			83箇所	69箇所	
	上高井郡小布施町	6箇所	6箇所					
	上高井郡高山村	22箇所	21箇所	17箇所		102箇所	54箇所	
長野	長野市	232箇所	185箇所			723箇所	559箇所	千曲市,中野市の一部含む
	上水内郡飯綱町	48箇所	40箇所	25箇所		94箇所	89箇所	長野市の一部含む
北信	中野市	104箇所	94箇所			261箇所	234箇所	飯綱町,飯山市,木島平村の一部含む
	飯山市	139箇所	114箇所	4箇所		66箇所	63箇所	中野市の一部含む
	下高井郡山ノ内町	34箇所	32箇所			56箇所	53箇所	
	下高井郡木島平村	35箇所	35箇所			32箇所	32箇所	中野市及び山ノ内町の一部含む
	下高井郡野沢温泉村	24箇所	23箇所			40箇所	31箇所	
犀川	下水内郡栄村	23箇所	22箇所			48箇所	34箇所	
	大町市	15箇所	13箇所			140箇所	111箇所	(八坂)
	安曇野市	53箇所	45箇所			79箇所	76箇所	(明科)
	北安曇郡池田町	49箇所	39箇所			176箇所	125箇所	大町市,安曇野市の一部含む
	東筑摩郡麻績村	48箇所	38箇所			43箇所	43箇所	
姫川	東筑摩郡生坂村	32箇所	30箇所			163箇所	120箇所	池田町の一部含む
	北安曇郡白馬村	79箇所	55箇所			167箇所	155箇所	小谷村の一部含む
土尻川	北安曇郡小谷村	66箇所	29箇所			221箇所	195箇所	白馬村の一部含む
	長野市	125箇所	73箇所			1144箇所	826箇所	(小田切,七二会篠ノ井,信更,大岡,信州新町,中糸)
	大町市	38箇所	32箇所	48箇所		163箇所	153箇所	(美麻)
	上水内郡小川村	45箇所	45箇所			317箇所	252箇所	
計		5,068箇所	4,190箇所	354箇所	0箇所	12,657箇所	10,643箇所	

総合計	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	市町村数
	18,079箇所	14,833箇所	63市町村

平成23年に完成した透過型砂防堰堤の紹介

通常砂防事業

くみの 荻野川 下伊那郡 根羽村 くみの 荻野

事業概要

3号砂防堰堤

H=9.0m L=56m

V=1280m³

スリットタイプ B型

スリット鋼重 W=20.2t

施工期間 H22.9~23.8



通常砂防事業

やぶ 藪沢 木曽郡 木祖村 やぶはら 藪原

事業概要

上流堰堤

H=14.5m L=67.5m

V=3,325m³

スリットタイプ 格子型

スリット鋼重 W=60.3t

施工期間 H20~23.6



火山砂防事業

おおない 大内川 長和町 きたこや 北古屋

事業概要

1号堰堤

H=9.5m L=49m

V=1450m³

スリットタイプ CBBO型

スリット鋼重 W=28.1t

施工期間 H22.10~23.9



異 動 の 挨 拶 (長井 隆幸 前砂防課長)



みなさんには、3年間、大変お世話になりました。学生時代から頻りに遊びに来ていた、あこがれの長野県での砂防事業に携わることができ、光栄に思います。地元のみなさんの温かい心や熱意に触れ、私自身の砂防への思いがまた一段と高まった気がします。

この度、長野県を離れてしまいますが、今後も、長野県のOBとして、おつきあいのほどをよろしく願っています。みなさんの益々のご発展をお祈りしています。ありがとうございました。

平成24年度 4 月 長野県建設部砂防課・人事異動

◎ 転 入

参事兼砂防課長へ

田 中 秀 基 (富山県 参事兼砂防課長)

企画幹兼地すべり係長へ

荻 野 厚 (千曲建設事務所)

砂防課 総務係へ

小 林 利 治 (北信建設事務所)

砂防課 調査管理係へ

柳 沢 末 夫 (佐久建設事務所)

砂防課 調査管理係へ

村 田 郁 央 (国土交通省)

砂防課 地すべり係へ

牛 澤 大 介 (上田建設事務所)

◎ 転 出

新潟県土木部都市局長へ

長 井 隆 幸 (砂防課 参事兼砂防課長)

北信建設事務所中野事務所 所長兼維持管理課長へ

野 本 幸 男 (砂防課 企画幹兼地すべり係長)

こども病院事務部総務課財務係長へ

北 澤 信 之 (砂防課 総務係)

議会議務局 総務課 経理係 担当係長へ

宮 下 尚 子 (砂防課 調査管理係)

須坂建設事務所 整備課 整備係担当係長へ

西 澤 賢 (砂防課 砂防係)

飯田建設事務所下伊那南部建設事務所整備課へ

関 達 也 (砂防課 地すべり係)

平成24年度 行 事 経 過 ・ 予 定

3月15～16日 第52回砂防および地すべり防止講習会

5月15日 全国治水砂防協会評議員会

” ” 賛助会員情報連絡会議

” ” 参与会

5月16日 第76回全国治水砂防協会総会

” 長野県治水砂防協会砂防講演会

” 長野県治水砂防協会懇談会

6月1～30日 土砂災害防止月間

6月4日 長野県砂防ボランティア協会総会

6月6～7日 平成24年度土砂災害防止推進の集い (全国大会)

7月17日 長野県治水砂防協会監査・理事会

8月3日 第74回長野県治水砂防協会通常総会

11月19日 全国治水砂防協会参与会

” ” 賛助会員情報連絡会議

11月20日 「土砂災害から人命と地域を守る砂防会議」

” 長野県治水砂防協会要望活動

東京都：砂防会館別館1階

東京都：砂防会館別館3階

東京都：砂防会館別館3階

東京都：砂防会館別館3階

東京都：砂防会館別館1階

東京都：砂防会館別館3階

”：ルポール麴町3階

長野市：ふれあい福祉センター

長崎県：長崎市

長野市：サンパルテ山王

長野市：メルパルクNAGANO 3階

東京都：砂防会館別館3階

東京都：砂防会館別館3階

東京都：砂防会館別館1階

東京都：民主党・衆・参議院議員会館、国土交通省

●第50号 編集・発行 長野県治水砂防協会 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 長野県建設部砂防課内
TEL 026 (232) 0144 E-mail : n-sabo@sky.plala.or.jp